

2004年を振り返る



小野路町にある硬式野球のできる野球場、サッカー場としても使えるラグビー場(どちらも天然芝)などを備えた約7.2ヘクタールの民間施設を買収しました。将来運動公園として開設する予定です 11



多摩丘陵に代表された貴重な自然環境を次代に継承するため、相原地区・上小山田地区にある丘陵緑地約35ヘクタール等を買収しました。相原地区の緑地は、はるかに相模湾に流れ込む境川の源流域になっています。また、上小山田地区の緑地は、市内最大のまとまりのある緑地内に位置し、多摩丘陵を流下し、東京湾へと注ぐ鶴見川の最源流域でもあります。市民の貴重な緑の財産であるこれらの緑地を保全していき、環境共生都市の実現を図っていきます 10



今年度地域文化功労の文部科学大臣表彰で町田フィルハーモニー交響楽団の常任指揮者・舞台監督の荒谷俊治さんが表彰されました。町田フィルをアマチュア楽団から海外公演できるほどに育て上げ、市におけるこれまでの芸術文化活動に対する功績が認められたものです 15



車椅子での利用、高齢の方ならびに小さなお子さんの安全性や利便性を向上するため、町田バスセンターに昇降機(エレベーター)1基・エスカレーター1基が設置されました 12



厚木基地における騒音等の解消に向け、神奈川県、基地周辺7市とともに寺田市長が防衛庁、防衛施設庁、外務省を訪れ、要請を行いました。また、翌11月26日には厚木航空施設司令官、11月29日には駐日米国外使に対して要請を行いました(写真提供)神奈川県企画部基地対策課 16



安全・安心のまちづくりに向けて、防犯パトロール車が出勤を開始しました。犯罪被害の多い地域を中心に、地域防犯の要である自治会や町内会等を訪問し、積極的に啓発活動を行っています 9



中心商店街の治安回復のため、民間交番「セーフティボックスサルビア」が開業しました。地元商店街町内会、青年会議所、PTAなどが運営し、セーフティボックスサルビアを拠点に商店街のパトロールから困った人への道案内まで幅広く活動しています 14



新潟県中越地震の被災地に向け、物資支援に引き続き、医療支援として医師、看護師などが小国町診療所へ、また建築業協会が危険度判定のための建築技術職員が小治谷市へ派遣されました 13



今年も屋根緑道では満開の桜が迎えてくれました。3日は天気にも恵まれ、のべ約4万5000人の人出でにぎわいました 6



本町田の「菅原神社」交差点を起点に葉師台を通り、「真光寺十字路」交差点へ至る町田都市計画道路3・4・35号線の芝溝街道を横切る部分が完成し、稲城・調布方面へのアクセスが容易になりました 7



アテネ五輪女子マラソン代表土佐礼子選手が寺田市長を表敬訪問しました。土佐選手は普段は南大谷の所属チームのグラウンドがある寮で練習しています。オリンピックでは持前の粘り強さで5位入賞。9月10日にその報告に再度市役所を訪れ、健闘を讃えられました 8



次のオリンピック開催地の北京市から友好代表団が市を訪れました。オリンピック開催に向け、施設整備やリサイクル機構の構築が課題ということで、下小山田町のリサイクル文化センターを視察しました 3



東京都総合防災訓練の一環として、都と連携して行う図上訓練を実施しました。市長以下98人の職員が統制部と演習部に分かれ、次々に情報が入る中、情報収集や応急対処活動など本番さながらの訓練となりました 4



真光寺市営住宅ではユニバーサルデザインによる「すべての人のためのデザイン」の考え方を導入し、市営住宅では初めて集会所棟に屋上緑化がされています 5



(仮称)鶴川子どもセンターは、設計段階から地区の住民や子どもたちが委員会を作って参加し、意見や要望を取り入れて建設されます。子どもセンターばあんに続く2番目の施設です 2

主なできごと

- 1月 12日 新しい形の成人式「二十祭まちだ」開催(写真1)
- 2月 23日 (仮称)鶴川子どもセンター着工式(写真2)
- 3月 29日 公的個人認証サービス開始
- 3月 3日 子ども安全緊急アピールを発表、児童・生徒へ防犯ブザーを貸与
- 3月 19日 町田市立中学校給食実施計画が答申される
- 3月 19日 庁舎問題検討委員会最終報告が答申される
- 3月 22日 中町第三庁舎が完成、都市計画部が移転
- 3月 29日 市道南565号線開通
- 3月 30日 町田・相模原業務核都市基本構想同意
- 3月 31日 廃棄物減量等推進審議会「ごみの有料化」について答申
- 4月 1日 高ヶ坂ふたば保育園、多摩境敬愛保育園、光の原保育園が開園
- 4月 1日 市役所組織改正
- 4月 1日 基本構想・基本計画決定
- 4月 1日 町田市住みよい街づくり条例施行
- 4月 1日 真光寺市営住宅入居開始(写真5)
- 4月 1日 町田市生活安全条例スタート
- 4月 1日 (財)町田市文化・国際交流財団設立
- 4月 3日 4日 まちださくまつり開催(写真6)
- 4月 5日 鞍掛の松公園開園
- 4月 12日 「常矢橋」が開通
- 4月 21日 都市計画道路3・4・35号線開通(写真7)
- 4月 21日 市道鶴川28号線拡幅完了
- 5月 6日 境川水系で死んだコイからコイヘルペスウイルス検出
- 5月 9日 総合水防演習実施
- 5月 30日 ボイ捨て防止清掃キャンペーン実施
- 6月 2日 アテネ五輪女子マラソン代表土佐礼子選手、市を訪問(写真8)
- 6月 24日 防犯パトロール車出勤(写真9)
- 6月 30日 町田リトリグ・全日本大会への出場を決め市を訪問
- 7月 11日 参議院議員選挙が行われる
- 7月 15日 町田市・相模原市市長懇談会が開演
- 7月 28日 町田市立文学館着工式が行われる
- 8月 1日 観音会開催、早朝に約13000人の人出でにぎわった
- 8月 2日 市長、市議会、町田市選出の都議が東京都に対して8項目を要望
- 8月 3日 夏の甲子園に日大三高が2年連続出場決定、壮行会が行われる
- 8月 22日 市立南中学校女子ハンドボール部が全国大会への出場を決め市を訪問
- 8月 27日 新体操の市立薬師中3年・寺澤由真さん、全国大会で個人総合優勝し、市を訪問
- 8月 27日 ソフトボールチーム「旭町グリーンフレンズ」全国大会への出場を決め市を訪問
- 8月 28日 鶴見川流域サミットが開催され、「鶴見川流域水マスタープラン」推進を宣言
- 8月 29日 市内全域で総合防災訓練実施
- 9月 18日 19日 フェスタ町田2004開催
- 9月 19日 わんわんクリーンキャンペーン、犬ふん清掃実施
- 10月 3日 町田こみフェスタ2004開催
- 10月 11日 相原地区・上小山田地区の緑地買収を決定(写真10)
- 10月 14日 (仮称)相原高齢者在宅サービスセンター着工式
- 10月 22日 小野路町の民間施設を買収、将来は運動公園に(写真11)
- 10月 22日 町田バスセンターにエレベーター・エスカレーター設置(写真12)
- 10月 25日 新潟県中越地震被災地に物資支援
- 10月 26日 町田市子どもマスタープラン(案)答申
- 10月 29日 新潟県中越地震被災地に職員派遣(写真13)
- 11月 1日 薬師池公園で菊花展開催
- 11月 2日 新・町田市行財政改革プラン策定
- 11月 6日 民間交番「セーフティボックスサルビア」が開業(環境クリーンキャンペーンも開催)
- 11月 9日 町田フィルハーモニーの荒谷俊治さん、地域文化功労で文部科学大臣表彰(写真15)
- 11月 25日 厚木基地騒音対策協議会が開催され、寺田市長は神奈川県及び基地周辺7市とともに関係省庁へ騒音対策を要請(写真16)
- 11月 28日 太陽と緑のまつり(農業祭)開催
- 12月 5日 子どもマラソン大会開催、元気に2200人が参加
- 12月 20日 町田市宅地開発事業に関する条例が施行

2004年(平成16年)も様々なニュースが相次いだ1年でした。
イラクでは、自衛隊撤退を求める武装勢力によって日本人民間人が人質になる事件などもありました。また、北朝鮮問題では拉致被害者家族が帰国した一方で、残る安否不明者に関する情報や証拠に疑義が生じるなど、先行きが不透明になっています。
国内では、台風による集中豪雨や地震によって甚大な被害が出て、今なお、不自由な暮らしを強いられる方々が多数います。また、幼児虐待や少年犯罪の凶悪化、「振り込め詐欺」や架空請求詐欺の横行、そのほか鳥インフルエンザやコイヘルペスの流行もありました。
7月の参議院選挙では、民主党が躍進、自民党は、公明党を含めて過半数を維持、政局の2大政党化が進み、スポーツではアテネ五輪での日本勢のメダルラッシュ、大リーグやNBAでの日本人選手の活躍、ゴルフや卓球で10代プロ選手の活躍が話題になりました。
ここでは、町田市の主なできごとを市政中心に振り返ってみました。